

呉工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	ゼミナール	
科目基礎情報							
科目番号	0257		科目区分		専門 / 選択必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	指導教員が指示する						
担当教員	仁保 裕						
到達目標							
卒業研究または卒業設計の手順を理解する。 研究論文の書き方を理解する。卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法を理解する。 研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	卒業研究または卒業設計の手順をよく理解する。		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		卒業研究または卒業設計の手順を理解できない。		
評価項目2	研究論文の書き方をよく理解する。 卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法をよく理解する。		研究論文の書き方を理解した。卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法を理解する。		研究論文の書き方を理解できない。 卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法を理解できない。		
評価項目3	研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）に適切にまとめる。		研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめる。		研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめられない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HD)							
教育方法等							
概要	この科目は、5 学年で実施する卒業研究の準備段階として、配属された指導教員のもとで、専門的な分野における個別の学習テーマの研究や設計を行なう。当該研究室では特別研究・応用研究や卒業研究を行っている専攻科生や5年生からも指導を受けたり、共同作業を通じて、研究や設計の手順や手法を習得する。						
授業の進め方・方法	指導教員が指示する。						
注意点	・5年生の卒業研究の前段階にあたる科目として位置づけられる。自陣の目標を立て、それを達成するために自ら計画し、かつ、時間管理を行う姿勢を身に付けてもらいたい。 ・ゼミナールのテーマとしては、原則、卒業研究／卒業設計につながるものがよい。ただし、外部設計競技やコンクールへの参加と入賞を目的として活動することも推奨される。 ・成績評価は以下の通り 指導教員による評価70%＋他教員による評価30%＝100% 上記のうち、60%以上を達成すれば合格となる。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	指導教員や専攻科生・5年生によるテーマの説明		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		2週	指導教員の指導のもと、研究・設計テーマの設定		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		3週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		4週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		5週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		6週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		7週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		8週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
	4thQ	9週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		10週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		11週	指導教員のもとで研究・設計の実習		卒業研究または卒業設計の手順を理解する。		
		12週	報告書作成		研究論文の書き方を理解する。卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法を理解する。		
		13週	報告書作成		研究論文の書き方を理解する。卒業設計の場合は、コンセプトの構想方法や図面の表現方法を理解する。		
		14週	報告書作成		研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめる。		
		15週	報告書作成		研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめる。		
		16週	報告書作成		研究や設計の準備作業で得られた成果を報告書（研究レポートや図面）にまとめる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。		3	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11

				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	3	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	後2
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11

評価割合			
	指導教員による全体評価	他の教員による報告書の評価	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	70	30	100
分野横断的能力	0	0	0